

令和6年(2024年)11月29日

山口県立萩看護学校長 様

学校関係者評価委員長

学校関係者評価委員会報告について

今年度の学校関係者評価委員会報告書について、別添のとおり提出します。

学校関係者評価委員会報告書

令和6年11月29日
山口県立萩看護学校
学校関係者評価委員会

I 令和5年度自己評価に係る各評価項目についての意見

◎ 全般事項

全般事項に関して、以下の意見があった。

- ① 看護は人と人の関わりであり、人柄が重要である。看護師としての知識や技術を身に付けることも必要であるが、その前段として人間性を育てる教育を充実し、看護師としての心と志を持った人材を育成してほしい。
- ② 自己評価の点数について、4点満点でほぼ4点となっているが、他の看護学校校はもっと低い点数が多い。あまり点数が高いと、これ以上細かいことを言う必要はないということになるのではと思います。

I 教育理念・目的・目標

教育理念・目的・目標について、以下の意見があった。

- ① どの看護学校の理念等も大きく変わらないので、貴校の特色を活かして、他校との差別化を図ると良いと思います。

II 学校運営

学校運営について、以下の意見があった。

- ① 教職員の方々忙しいと思うが、時間外勤務の縮減に取り組んでほしい。

III 教育活動

教育活動について、以下の意見があった。

- ① 新カリキュラムへの変更について、第一看護学科と第二看護学科で移行時期が異なっているなど、相当大変だったと思います。
- ② 外部の意見は大事で、内部だけの自己満足ではいけない。授業等の学生へのアンケートや評価結果のフィードバックもしっかり行ってほしい。

IV 学修成果

学修成果について、以下の意見があった。

- ① 国家試験に全員が合格しているのは大変評価できると思います。

V 学生支援

学生支援について、以下の意見があった。

- ① 県の奨学金は、200床以上の病院に就職した場合、奨学金の返還が必要であることについて、早めに学生に周知してほしい。

VI 教育環境

教育環境について、以下の意見があった。

- ① 来年度からの教科書の電子化に関して、電子テキストは使っていて技術的なトラブルが多いが、これからはデジタル化にしっかり対応すべき時代です。
- ② 教科書の電子化に際し、手書きにしている実習記録等についても検討したらよいと思います。

VII 学生の募集と受入れ

学生の募集と受入れについて、以下の意見があった。

- ① 北浦地域の小中学生等も人数がかなり減ってきている。また、地元出身でないと北浦地域に就職してくれないので、協力をお願いしたい。
- ② 学生募集に関して、来年度、下関市立大学に看護学部が新設されることの影響が心配されるようです。
- ③ 学生の募集に際し、貴校のメリット（3年で卒業できる、学費が安い、国家試験合格率が高い、いろいろな場所で実習できる等）をもっとアピールしてほしい。
- ④ 貴校の入試が難しく、一定数が下関の私立看護学校に入学し、卒業後また北浦地域に戻ってくるという話を聞くので、北浦地域の高校等に対し学費が安いなどしっかりと説明、PRをしてほしい。

VIII 社会貢献・地域貢献

各委員からの意見なし。

Ⅱ 「令和5年度の組織目標（振り返り）」についての意見

各委員からの意見なし。

Ⅲ 本校の教育課程、進路指導その他教育活動や学校運営に係る助言について

以下のとおり。

- ① 第二看護学科の課程について、3年間は長いので2年間に短縮したら、入学生が増えるかもしれないと思います。